

## 国立大学法人島根大学役員会（第332回）＜議事要録＞

日時 平成30年12月4日（火） 14:00 ~ 16:15  
場所 本部棟3階 特別会議室  
出席者 服部学長，藤田理事，秋重理事，荒瀬理事，井川理事，吉田理事，宮脇理事  
欠席者 なし  
〔陪席：千家監事，篠塚監事，企画部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長，医学部事務部長，企画広報情報課長，教育企画課長，総務課長，財務課長，経理・調達課長，医学部総務課長，監査室長〕

### 議題1 国立大学法人島根大学服務・訟務会議規則の制定について

- 藤田理事から国立大学法人島根大学服務・訟務会議規則の制定について，前回役員会での意見を踏まえて再度提案するものであるとの説明があり，原案どおり議決された。

### 議題2 働き方改革対応制度改正方針（案）について

- 藤田理事から働き方改革対応制度改正方針（案）について説明があった。
- 千家監事から次の3点の質問及び意見があった。
  - ①労働時間の把握については，管理職も対象者も入っているのか。
  - ②労働時間の把握について，裁量労働制の教員が学外で研究する場合のルールをつくるべきではないか。
  - ③努力義務となっている勤務間インターバル制度についてはどのように対応するのか。
- 藤田理事から①については管理職も対象であり，②についてはまずは実際に勤務した時間を把握するが，その後の対応は検討するとの回答があった。また，③については今後検討するとの回答があり，原案どおり議決された。

### 議題3 平成30年度における国立大学法人島根大学の中小企業者に関する契約の方針について

- 吉田理事から平成30年度における国立大学法人島根大学の中小企業者に関する契約の方針について説明があった。また，あわせて来年度以降，前年度の方針から大きな変更がない場合は，審議事項ではなく報告事項とすることについて提案があった。
- 篠塚監事から上記の提案について，報告時には，変更点及び前年度比の数字を示すよう意見があった。
- 吉田理事から意見を踏まえて対応するとの回答があり，原案どおり議決された。

### 議題4 平成30年度補正予算（第1号）（案）について

- 吉田理事から平成30年度補正予算（第1号）（案）について説明があった。
- 篠塚監事から主な使途欄については，流用及び変更した予算を何に使用するのかという記事を記載してはどうかとの意見があった。吉田理事から予算規則を踏まえて記載しているが，わかりにくいため，今後はわかりやすい表現とするとの回答があり，原案どおり議決された。

### 議題5 第164回教育研究評議会の議題等について

- 学長から第164回教育研究評議会の議題等についての報告事項9件について説明があった。
- 千家監事から平成30年11月26日開催の総合戦略会議で審議された「高大接続の展開

について」は、全学の教育に関わるため、教育研究評議会でも審議すべきではないかとの意見があった。

- 学長から教育研究評議会及び経営協議会の議題等については、従来役員会で審議しているが、教育研究評議会及び経営協議会は役員会から独立した会議であるため、審議事項ではなく、報告事項でよいのではないかとの意見があった。
- 以上の審議の結果、第164回教育研究評議会の議題として「高大接続の展開について」を追加することとし、議決された。なお、教育研究評議会及び経営協議会の議題等を役員会の審議事項とするかについては、今後検討することとなった。

#### 協議事項1 定期モニタリングの実施について

- 秋重理事から「研究不正の防止体制（臨床研究を含む）」についての内部統制報告書の説明があった。
- 学長から研究倫理講習会の実施の現状と改善の方向性について質問があった。秋重理事から研究倫理のトピックス的な部分は講習会を実施し、基礎的な部分はeラーニングで実施しているが、不十分と考えられるため、付加的に講習会の実施を検討しているとの回答があった。
- 篠塚監事からeラーニングについて、受講者に対して効果や反省点に関するアンケートを実施し、結果を役員会で報告するよう意見があった。
- 藤田理事からリスクの状況における事実究明システムについて、研究不正通報後にどう処理されるのか不明確であれば通報を躊躇するため、構成員に対し通報後の体制の周知が必要ではないかとの意見があった。秋重理事から研究不正通報窓口は設けているが、通報後の体制の周知は行っていないため、通報者に不利益となることがない等の周知を検討するとの回答があった。
- 千家監事から文部科学省が実施する「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドラインに基づく取組状況に係るチェックリスト」を参考にすると、学部学生に対する研究倫理教育については、学部任せにするのではなく、大学本部が研究倫理教育の機会を提供し、学部が実情に応じて受講を判断する形にすべきではないかとの意見があった。学長から全学的に学部学生を対象とした講習を実施してはどうかとの意見があり、検討することとなった。
- 学長から昔に比べ若手研究者にとって小講座制の良い面としての研究倫理教育を受ける機会が減っており、また、業績主義の悪い面での影響からの研究倫理意識の低下が危惧される。また、近年では、論文公表についていわゆる“ハゲタカジャーナル”等への投稿も見受けられる状態であり、早急な対応が必要ではないかとの意見があった。秋重理事からハゲタカジャーナルに対しては、教員への周知を実施しており、また他大学では具体的な対策がなされている例もあるとの回答があった。ハゲタカジャーナルについては、教員への周知を徹底するとともに、他大学での事例を参考に地域連携・研究協力課と財務課で連携して対策を検討することとなった。

#### 報告事項1 平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果について

- 秋重理事から平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。

#### 報告事項2 出雲労働基準監督署からの是正勧告について

- 井川理事から出雲労働基準監督署からの是正勧告について報告があった。

### 報告事項3 個人情報保護教育（eラーニング）の受講状況について

- 秋重理事から個人情報保護教育（eラーニング）の受講状況について報告があった。
- 篠塚監事から部署間で修了率に偏りがあるため、部署毎での修了率を向上させる方策を検討すべきではないかとの意見があった。

### 報告事項4 平成30年9月末現在の財務状況等について

- 吉田理事から平成30年9月末現在の財務状況等について報告があった

### 報告事項5 受動喫煙防止対策について

- 吉田理事から受動喫煙防止対策について報告があった。

### 報告事項6 平成30年度島根大学における節電計画（冬季）について

- 吉田理事から平成30年度島根大学における節電計画（冬季）について報告があった

### 報告事項7 総合理工学部長の任期延長について

- 学長から総合理工学部長の任期延長について報告があった。

### 報告事項8 松江市指定避難所の使用に関する協定書について

- 藤田理事から松江市指定避難所の使用に関する協定書について報告があった

### 報告事項9 附属病院運営状況について

- 井川理事から電子カルテ不適切閲覧防止対策について報告があった。続いて平成30年10月分の附属病院診療費用請求額等、11月に開催された病院経営企画戦略会議及び附属病院運営委員会の議事、附属病院の勤務状況等について報告があった。

### 報告事項10 平成31年度役員会等の開催日について

- 藤田理事から平成31年度役員会等の開催日について報告があった